

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 キャリアデザイン	生涯学習論	富岡守	2年次	秋

授業のキーワード	ボランティア、NPO、地域社会
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	群馬県内や高崎市内でのNPO・ボランティア活動などを紹介し、ボランティアへの理解を深めていただき、学生が卒業後も自発的にボランティア活動に参加する意識を育むことを目標とします。
履修のアドバイス・前提科目等	NPOボランティア方々の協力をいただき、地域社会の課題を学生と一緒に考え、自分たちに何が出来るかをともに考えます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	授業の進め方採点方法等を説明、現在の社会状況に応じた授業を行うため学生のアンケートを行います。	第9講	アメリカのNPOと寄付社会アメリカ	アメリカでは130万を超えるNPOが活動しています。アメリカのNPO活動の実態とその活動を支えている寄付の状況を紹介し、寄付社会アメリカについて考えます。
第2講	今、なぜ「ボランティア」か	「伊達直人ブーム」が、日本社会のボランティアの新たな一歩を踏み出せる可能性があります。様々な課題を抱える地域社会とボランティアの可能性について一緒に考えましょう。	第10講	今求められている「企業の社会貢献活動」	企業の社会的責任（CSR）が求められています。企業の社会貢献担当者との話を伺い、企業の社会貢献活動のあり方について考えます。（協力：企業社会貢献担当者）
第3講	炊き出し訓練	災害時には、温かい炊き出しが被災者には大変喜ばれます。ビニール袋を利用した炊き出し訓練です。自分で作った食事を全員で試食します。（協力：災害支援ボランティア）	第11講	ボランティアと尾瀬の自然保護	尾瀬の自然のすばらしさを知るとともに、尾瀬の自然を保護するために活動しているボランティアについて学びます。（協力：尾瀬沼観察団）
第4講	若者の就業支援とNPO活動	若者就業支援に関わる皆様の先輩がNPOの活動状況を紹介するとともに、実際の活動に基づいていろいろな生徒の相談にも応じます。（協力：若者の就業支援NPO担当者）	第12講	NPO・ボランティアと行政との協働	NPO・ボランティアと行政は、その性格や行動様式が大きく違います。しかし両者により協働の必要が増加しています。両者による協働とは何かを考えます。
第5講	「伊達直人のプレゼント」とその後	群馬県の中央児童相談所で伊達直人からランドセルがプレゼントされ、その後全国的に「伊達直人ブーム」が発生しました。当時の様子や現在の状況を伺うとともに寄付とは何かを考えます。（協力：中央児童相談所担当者）	第13講	ボランティア・コーディネーターって何？	ボランティア活動初心者には、ボランティア・コーディネーターは強力な味方です。その活動内容や地域におけるボランティア活動の実態を学びます。（協力：ボランティア・コーディネーター）
第6講	NPOとNPO法	ボランティア活動を支援する特定非営利活動促進法（NPO法）制定のきっかけとなった阪神淡路大震災の当時の状況を説明するとともに、法の果たす役割について考えます。	第14講	ボランティア活動のすすめ	ボランティアと地域社会との関わりを考え、ボランティア活動の原則や活動時の注意点を説明し卒業後の参考とします。
第7講	ボランティアと高齢者支援	「施設ではなく地域で暮らしたい」、高齢者の希望をかかえるために活動しているNPOの活動事例を紹介し、高齢者支援とは何かを考えます。（協力：高齢者支援NPO）	第15講	定期試験	ボランティアに関するレポート
第8講	ボランティアと障害者支援	「ノーマライゼーション」言葉は簡単なことですが、実際には数多くの課題があります。NPO活動事例を通じてノーマライゼーションとは何かを考えます。（協力：障害者支援NPO）	評価方法	出席点：50%、定期試験（レポート）：50%により総合的に評価	
備考 (関連する資格・試験等)	地域で暮らす人々の社会的な支援に関する需要（何が必要か）は増加し、多様化（何をしてほしいか）しています。しかし、地域社会における支援機材は減退し続け、高齢者や子ども達などの社会的弱者を支援するボランティア活動はますます重要となっています。一人ひとりが、自分で何が出来るかを考えてください。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
なし			講義の参考資料はその都度配布します。		